

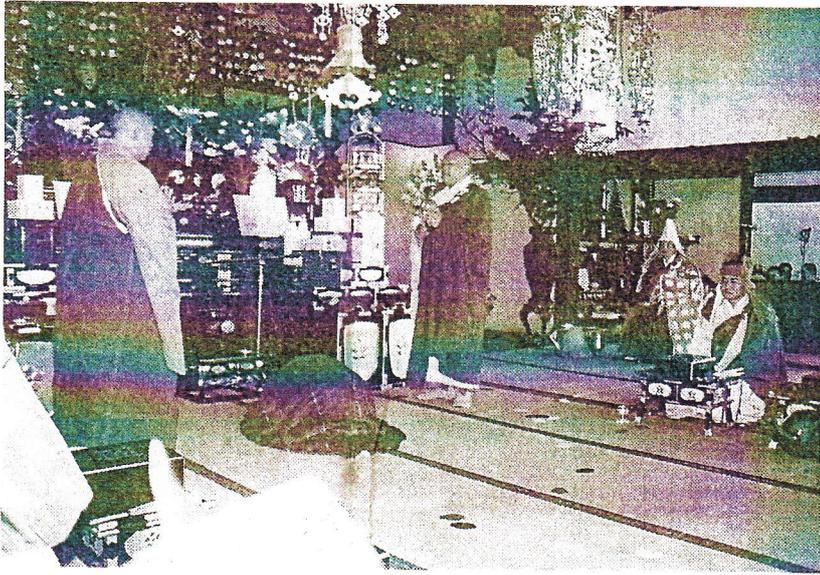
日中友好へお寺同士で「覚書」

広島・國前寺と西安・草堂寺

鳩摩羅什三蔵法師の顕彰を縁に

國前寺で法要 中国僧三師参列

【広島】流暢な漢訳「妙法蓮華經」(法華經)で後世の法華經研究と伝播に大きな功績を残した鳩摩羅什三蔵法師を顕彰する法要が十一月六日、広島市の本山國前寺(足田英政貫首)で営まれた。鳩摩羅什の墓がある中国・西安の草堂寺からも住持(住職)・釈宏林師ら三人の僧侶を迎え、僧侶檀信徒百八十人が参列した。國前寺と草堂寺との間では、友好と交流の覚書も調印しており、法要後、披露された。



中国の釈宏林師ら3人による鳩摩羅什三蔵法師読経法要(國前寺)

國前寺には昔から鳩摩羅什の像が奉安されており、中国・草堂寺にも日蓮宗鳩摩羅什三蔵法師遺跡顕彰会が寄贈し、昭和五十七年四月十三日当時の金子日威管長猥下を導師に開眼法要を行った鳩摩羅什の像が祀られている。

平成三年十月には同顕彰会が草堂寺に鳩摩羅什紀念堂も建立している。

國前寺で営まれた「鳩摩羅什三蔵法師・遺徳顕彰法要」は、宝前に鳩摩羅什尊像を安置、足田貫首を導師に、広島県日蓮宗青年会と声明師会が出仕して営まれた。引き続き、草堂寺の僧侶三人による読経法要が行われた。

参列者たちは、草堂寺僧侶の読経に、共に手を合わせ、「妙法蓮華經」を漢訳した鳩摩羅什の遺徳に心から感謝した。

その後、「日中友好草堂寺・國前寺交流の覚え書き」が読み上げられ、今後、お互いの一層の友好と交流を誓った。また、記念品として草堂寺から同寺の鳩摩

鳩摩羅什

(三四四—四一三)

亀茲国生まれの学僧で、中国最大の仏典翻訳家。經律論の三蔵に精通したので三蔵法師と尊称する。四〇一年、後秦の姚興に國師の

羅什像を模写した掛け軸が奉納された。

草堂寺を代表して釈諦性師が中国のことわざに「縁

礼を以て長安を迎えられ、

「妙法蓮華經」「阿弥陀經」

「中論」「大智度論」など

を漢訳。精力的に經論の翻

訳を行い、三千人以上の門

弟を育て、中国仏教の發展

に貢献した。

があれば、千里を越えて会いに来る」という言葉がある。私たちは、鳩摩羅什三蔵法師の縁により國前寺と

があれは、千里を越えて会いに来る」という言葉がある。私たちは、鳩摩羅什三蔵法師の縁により國前寺と

今春、草堂寺で法要

檀徒森一久氏が仲介役に

國前寺と草堂寺交流の仲介役を果たしたのは、國前寺の檀徒・森一久氏だった。森氏は日本原子力産業会議副会長を務め、仕事でたびたび中国を訪れている。五年以上前、原爆に つ

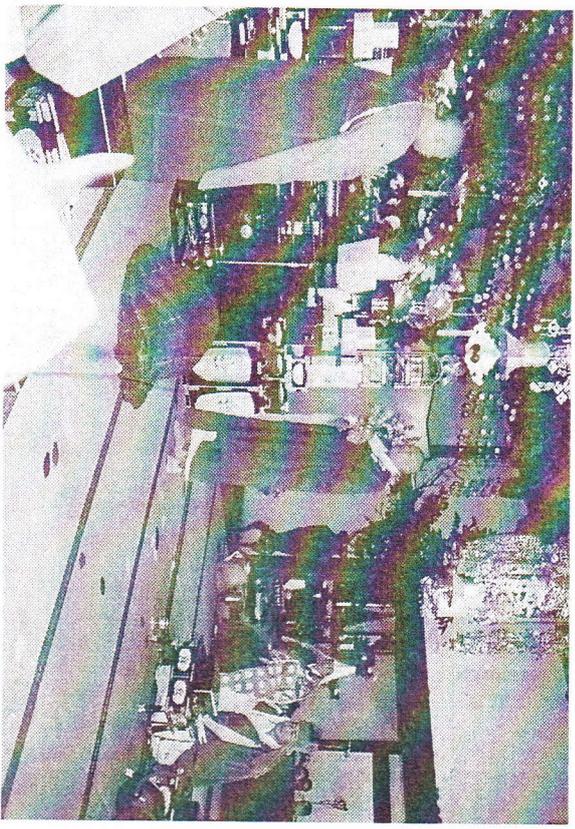
知り合うことができた。中国・日本において一層の仏教發展に貢献しよう。鳩摩羅什三蔵法師の光が再び日中友好の架け橋となることを祈りましょう。世界人類の平和を祈りましょう」と挨拶した。そのあと、西嶋宏明宗会議員、檀徒・森一久氏がそれぞれ挨拶、足田貫首が謝辞を述べた。(渡部通信員)

ことし三月二十七日には國前寺の足田英親執事長が草堂寺を訪問し、「日中友好草堂寺・國前寺交流の覚書」に調印するまでになった。このとき、足田執事長は森氏ら檀信徒五人と共に草堂寺で法要を行った。

今回、國前寺での鳩摩羅什三蔵法師法要は、日中両寺院合同で、日本側で営まれる最初の法要。

日蓮友好会が寺同士の「見書」

広島・國前寺と西安・草堂寺



【広島】流暢な漢訳「妙法蓮華經」(法華經)で後世の法華經研究に伝播に大きな功績を残した鳩摩羅什三藏法師を顕彰する法要が十一月廿日、広島市の本山國前寺(足田英政貫意)で営まれた。鳩摩羅什の墓がある中国・西安の草堂寺からも招待(住職)・釈宏林師ら三人の僧侶を迎え僧侶檀信徒百六十人が参列した。國前寺と草堂寺の間では、友好と交流の見書も調印しており、法要後、披露された。

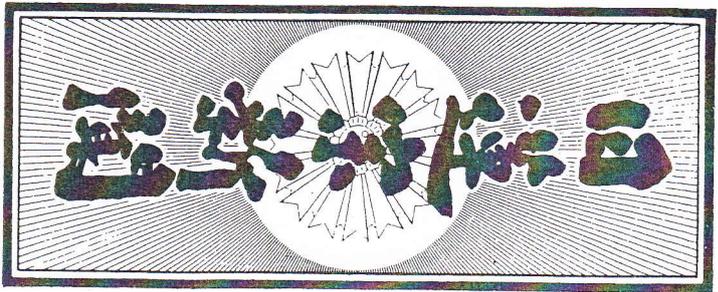
國前寺で法要 中国僧三師参列

鳩摩羅什三藏法師の顕彰を縁に

中国の釈宏林師ら3人による鳩摩羅什三藏法師講經法要(國前寺)が十一月廿日、広島市の本山國前寺(足田英政貫意)で営まれた。鳩摩羅什の墓がある中国・西安の草堂寺からも招待(住職)・釈宏林師ら三人の僧侶を迎え僧侶檀信徒百六十人が参列した。國前寺と草堂寺の間では、友好と交流の見書も調印されており、法要後、披露された。

平成三年十月には同顕彰会が草堂寺に鳩摩羅什紀念堂も建立している。國前寺で営まれた「鳩摩羅什三藏法師・遺徳顕彰法要」は、この前に鳩摩羅什尊像を安置、足田貫首を導師に、広島県日蓮宗青年会と青明師会が出して営まれた。引き継ぎ、草堂寺の僧侶三人による講經法要が行われた。

参列者たちは、草堂寺僧侶の講經に、共に手を合わせ、「妙法蓮華經」を漢訳した鳩摩羅什の遺徳に心から感謝した。その後、「日中友好草堂寺・國前寺交流の見え書き」が読み上げられ、今後お互いの一層の友好と交流を誓った。また、記念品として草堂寺から同寺の鳩摩



発行所 日蓮宗新聞社
 東京都大田区池上 7-23-3 (〒146-0082)
 電話 03(3755) 5271~3
 ファックス 03(3753)7028
 郵便振替 00130-0-52147
 © 日蓮宗新聞社

次号はカラーで増ページ
 新春特別号
 特別注文を受け付け中

鳩摩羅什
 (三四四三)
 皇慈国生まれの学僧で
 中国最大の仏典翻訳家。
 理論の三蔵に精通したの
 三藏法師と尊称する。四
 一年 後秦の姚興に國師
 羅什像を模写した掛け軸
 奉納された。
 草堂寺を代表して頼朝
 師が中国のごとく

説法

歳末行脚
と托鉢

財法二施功徳無量波羅蜜
長足円満乃至法界平等利益
今年も十月一日から十二月三十一日まで「赤い羽根
共同募金運動」を行っており、社会福祉事業に活用さ
れています。

私の寺のある仏教会では、村内を托鉢して皆さんか
ら浄財の喜捨をいただき、各種社会福祉関係の慰問や
施設に使われている職員の方々、ボランティアの方

新潟県西部布教師会長
長谷川泰雄
(玉泉寺住職)

々に感謝のしるしとして浄財の一部分を差し上げ、お
見舞いをしています。年々歳々の時期に托鉢奉仕す
ることを無上の法悦としています。
阿仏房御書に云く
『冬至如来の宝座を供養し給つかと思へばさしては候
はず我身を供養し給つ。我身又三身即一の本覚の如來
也。かく信じて給いて南無妙法蓮華經と唱へ給へ。』
さながら宝塔の住処也』

私を以て長安に迎えられ、知り合ふことができまし
た。中国・日本において一
『妙法蓮華經』『阿彌陀經』
『中論』『大智度論』など
を漢訳。精力的に経論の翻
訳を行ひ、三人以上の門
光が再び日友好の架け橋
となることを祈りましょ
う。世界人類の平和を祈り
ましょことば挨拶した。そ
の檀徒・森一久氏がだつ
た。森氏は日本原子力産業
会議副会長を務め、仕事で
たびたび中国を訪れてい
ます。五年以上前、風塵につ
いで中国仏教会の人だこと
挨拶、足田貫賢が謝辞を送
った。(瘦部通信員)

今春、草堂寺で法要

檀徒 森一久氏が仲介役に

國前寺と草堂寺交流の仲
介役を果たしたのは、國前
寺の檀徒・森一久氏がだつ
た。森氏は日本原子力産業
会議副会長を務め、仕事で
たびたび中国を訪れてい
ます。五年以上前、風塵につ
いで中国仏教会の人だこと
挨拶、足田貫賢が謝辞を送
った。(瘦部通信員)

ことし三月十七日には
國前寺の足田英親執事長が
草堂寺を訪問し、『日友
好草堂寺・國前寺交流の宛
書』に調印するまでになつ
た。このとき、足田執事長
は森氏の檀信徒五人と共に
草堂寺で法要を行った。
今回、國前寺での鳩摩羅
什三藏法師法要は、日中両
寺院合同で、日本側で営ま
れる最初の法要。